

授業科目名 <英訳>	文化行為論 A Cultursl practices A	担当者氏名	人文科学研究所 教授 田中 雅一						
配当学年	3,4回生	単位数	2	開講期	前期	曜時限	月2	授業形態	講義
【授業の概要・目的】									
文化行為論は日常実践に焦点を絞る文化・社会人類学である。そして日常実践を複数の権力が作用するアリーナととらえることで、「未開」、宗教、ジェンダー、セクシュアリティなど人類学が対象としてきた様々なテーマや慣れ親しんできた諸概念を再考する。									
【授業計画と内容】									
最初に現代人類学の状況を概括し、異文化を理解することの意義を考える。その後は、ジェンダー・セクシュアリティと文化とが交錯する領域をテーマとする。 1-3週)文化人類学の変貌、ジェンダーとセクシュアリティの人類学 4-7週)ジェンダー儀礼： 男子割礼、女子割礼FGM 8-10週)女性への暴力： サティ（寡婦殉死）と名誉殺人 11-14週)セックスワークと結婚 15週)まとめ									
【履修要件】									
文化人類学に関するほかの講義を受けていることが望ましい。									
【成績評価の方法・基準】									
平常点、とくに小レポートと授業内での発言 60パーセント 期末レポート 40パーセント									
【教科書】									
使用しない									
【参考書等】									
（参考書） 田中雅一ほか編 『ジェンダーで学ぶ文化人類学』（世界思想社） 田中雅一ほか編 『ジェンダーで学ぶ宗教学』（世界思想社） 田中雅一 『癒しとイヤラシ エロスの文化人類学』（筑摩書房） 各テーマについては授業中に資料を配布し、参考文献を紹介する。									
（関連URL）									
http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/~shakti/ (田中雅一のホームページ)									
（その他（授業外学習の指示・オフィスアワー等））									
オフィスアワーは特に設けない。問い合わせやアポイントはshakti@zinbun.kyoto-u.ac.jpで受け付ける。 オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。									